

## 第2学年 国語科学習指導案

- 1 単元名 六 だいじなところに 気をつけて読もう (光村上)  
教材名 サンゴの海の生きものたち (本川 達雄)

### 2 単元について

#### (1) 教材について

本教材は「共生」というやや難しい内容を扱っているが、「初め」を丁寧に指導することで読みの方向づけができ、更に「中1・中2」「終り」という文章構成を把握させて説明文を読む方法を身に付けていくことができるものとする。また、「たんぼぼのちえ」が時間的な順序で説明されていたのに対し、本教材は並列の関係で事柄が説明されており、次の説明的教材「1本の木」へとつながる教材になっている。

本教材には、随所に美しい写真が載っており、児童の関心を引くとともに、本文の内容を的確に捉えるための手助けとなるであろう。そして、生き物の不思議に興味を持ち、自分で本を探して読む楽しさを味わわせていきたい。

上記のことから、第2学年で求められる「時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」「易しい読み物に興味を持ち、読むこと」の力を育てることができると考える。

#### (2) 児童について

- ・今までの説明文の学習から、順序を表す言葉を意識するようになってきた。
- ・一つ一つの事柄について、事実とその理由を結びつけて読み取ることができる。
- ・どの子も読書に対する興味・関心は高いが、物語に偏りがちであるので、自然科学的な図書にも触れる機会にしたい。
- ・文章全体の構成をつかみながら読み取るとは不十分である。

#### (3) 指導の構想

確かな読みの力を育てるために、本教材において「初め」「中」「終り」という文章構成を把握させて、内容の大体を読み取る力を高めていく。

- ①単元名とリード文に着目させ、学習の目当てをもつ。
- ②本文に登場する生き物の関わり合いを、叙述に即して正確に読み取る。
- ③生き物についての本を選んで読み、カードを書いて紹介し合う。
- ④片仮名を正しく読んだり書いたりして、文や文章の中で使えるようにする。

### 3 単元の目標

#### 【関心・意欲・態度】

- 海の生き物の共生関係や説明文の組み立てに興味を持って読もうとしている。
- 生き物についての読み物を選んで読み、物語以外の読み物にも興味を持つ。

#### 【読むこと】

- 「サンゴの海の生きものたち」が互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読むことができる。

#### 【書くこと】

- 二つの生き物の相互作用を抽出して書くことができる。

#### 【言語事項】

- 片仮名で書く語を読んだり書いたりし、文や文章の中で使うことができる。

4 指導計画 2年生「サンゴの海の生きものたち」 (7時間扱い)

過程	時	学 習 内 容	指導の手立て	評価規準
つかむ	1 ・ 2	1 学習の見通しをもつ。 (1) 写真を見ながら範読を聞き、海の中のイメージを広げ、感じたことや考えたことを発表する。 (2) 学習のめあてをつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容に興味を持たせ、大体の内容を理解させるために、拡大写真を準備する。</li> <li>・単元名とリード文に着目させる。</li> <li>・漢字・片仮名は、本教材を進める上で自由に記述できるように練習する。</li> </ul>	<b>【関】</b> 興味を持って読み写真を良く見て気づいたことを発表している。  <b>【言】</b> 漢字・片仮名を正しく読んだり書いたりしている。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ① 海の中の生きものたちは、どのようにかかわり合っているのかに気をつけて読みましょう。            ② 生き物の本を見つけて読みましょう。         </div>		
		2 音読練習をする。 3 漢字・片仮名の練習をする。		
ふかめる	3  4 本時  5	4 登場してくる生き物について、かかわり合いを読み取る。 (1) イソギンチャクとクマノミの特徴とかかわり合いを読み取り、まとめる。 ・イソギンチャクとクマノミそれぞれの特徴を読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主語に気をつけて読む。</li> <li>・イソギンチャクとクマノミに分けて、サイドラインを引く。</li> <li>・吹き出しに書いて理解を深める。</li> <li>・P. 77を例にまとめる。</li> <li>・ホンソメワケベラと大きな魚に分けてサイドラインを引く。</li> <li>・写真と文を照応させながらまとめさせる。</li> </ul>	<b>【読】</b> 生き物の特徴を叙述に即して読み取っている。  <b>【読】</b> 生き物のかかわり合いを叙述に即して読み取っている。 <b>【書】</b> 二つの生き物の相互作用を抽出して書いている。  <b>【読】</b> 生き物の特徴やかかわり合いを叙述に即して読み取っている。
		(2) ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを読み取り、まとめる。 ・ホンソメワケベラについて読み取る。 ・互いに役に立っていることを読み取る。 ・ホンソメワケベラと大きな魚とのかかわり合いをワークシートにまとめる。		
		(3) まとめの文を読み感想を発表する。		
まとめ	6 ・ 7	6 海の生きものについての本を選んで読む。 (1) 海の生き物についての本の紹介を聞く。 (2) 興味を持った生き物の本を読む。 (3) 読んだ生き物について、友達に教えたいことや不思議だと思った事などをカードに書く。 (4) カードを交換して読み合い、感想を伝え合う。 (5) カードを参考に、本を選んで読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生でも読めるものをあらかじめ準備しておく。</li> <li>・そのまま書き写すのではなく、自分が伝えたいことを書くようにする。</li> <li>・本も一緒に紹介し、読んでみようという意欲につなげる。</li> </ul>	<b>【関】</b> 興味を持った本を進んで読んでいる。  交換したカードを参考に、さらに読もうとしている。

5 本時の指導 (4/7)

(1) 目標

イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを叙述に即して読み取り、まとめることができる。

(2) 評価

【評価規準】

両者が互いに役立っていることを読み取り、かかわり合いをまとめている。

【具体の評価規準】

A：互いに役立っていることがわかる吹き出しを書き、それをもとにかかわり合いを文章にまとめている。

B：互いに役立っていることがわかる吹き出しを書き、かかわり合いをまとめている。

C：教師の支援や友達の発表などを手がかりにして書いている。

(3) 展開

段階・形態	学習内容と教師の働きかけ	指導上の留意点
つかむ 7分	<input type="checkbox"/> 1 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     イソギンチャクとクマノミはどのようにかかわり合っているのでしょうか。                 </div> <input type="checkbox"/> 2 P. 72～P. 73を音読する。 ・前の学習を思い出しながら、イソギンチャクのことかクマノミのことか、気をつけて読みましょう。	・イソギンチャクとクマノミの特徴を想起させる。
ふかめる 33分	<input type="checkbox"/> 3 イソギンチャクとクマノミが互いに役に立っていることを読み取る。 ・⑤と⑥の段落を読みましょう。 ・ワークシートの吹きだしに、それぞれの生き物になったつもりで書き込みをしましょう。 ・イソギンチャクとクマノミになったつもりでお話しましょう。 <input type="checkbox"/> 4 イソギンチャクとクマノミのかかわり合いをまとめる。 ・お互いに役に立っていることを書きましょう。 <input type="checkbox"/> ・読み合って確かめましょう。	・主語に気をつけて読むようにさせる。 ・書き出しを入れたワークシートも用意しておく。 [評] ワークシート ・穴埋め式のワークシートも準備しておく。 [評] ワークシート
まとめる 5分	<input type="checkbox"/> 6 本時のまとめをする。 ・互いに守りあうというかかわり合いをしています。 ・他にもこのような生き物がないか調べたいと思います。 <input type="checkbox"/> 7 次時の学習を知る。 ・次は、ホンソメワケベラについて学習します。	・本時の内容に関わることを、読書意欲に関することなどをまとめとしてもたせたい。